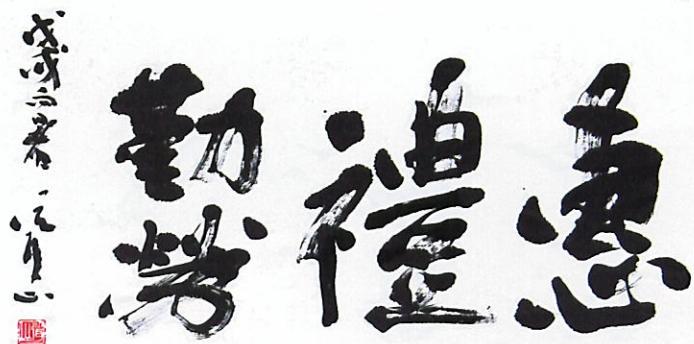


## 校訓



昭和12年、苦中時代の渡辺富治初代校長が、「日々の生活の中で、報恩感謝（恵みに感謝する）気持ちこそ大切であり、その気持ちが礼儀や勤労となり生活の基礎となる。働く青年には進歩があり、礼儀正しい青年には向上があり、そのような人物こそ各分野のリーダーになれる」と考えたことから制定されました。

## 校章



雪形三叉結晶の「白三星」は校訓の「恵・礼・勤労」の三大精神が象徴

## 校旗



校旗は濃い緑色（スクールカラー）  
中央には校章を刺繡地の緑色で  
青春の気と勇払原野を表現

## 校風

文武両道  
自主自律

本校では「学習にも100%、部活動にも100%」を掲げ、熱心に取り組むことを奨励しています。

また生徒会活動を始め、自発的に活動に取り組んでいます。制服はありませんが、華美に流れる事はありません。素晴らしい出会いを通じて人間的に成長していきます。

## 校歌

渡辺富治作詞  
吉川義久作曲  
北海道立東洋高等学校校歌

勇拂原野東遠く樽前  
山姿崇し玉笏の湖つ  
水清々太平洋の潮匂う  
此天地の正氣すとし  
誠学校はここにあり  
見よ海上之景物無限  
山脈峰々連しや星々雲々  
はるか遠き哉、波氣處  
一や聞け朝夕の波音を  
不斷の生命を示す  
恵みの禮と勤務と誠  
學校の校訓とは雲々  
星々裏りなまきよひと  
空へーと誓ひに葉  
我等が學業より起らざ  
我等

渡辺富治初代校長が作詞。樽前山、勇払原野、太平洋に囲まれたこの大地に根を下ろし、そしてこの地で育まれてきた生徒達と汗にまみれ、土にまみれながら、校訓の礎となっている「勤労愛校の精神」を生徒とともに実践しよう、という願いのもとに作られました。作曲は、当時勤務していた音楽担当の酒井仁之進氏。昭和12年12月3日、初代校舎竣工式において初めて披露されました。